



ブルネイ・ダルサラーム国

Brunei Darussalam

2007年11月現在



一般事情

- 1.面積 5,765平方キロメートル(三重県とほぼ同じ)
- 2.人口 38万人(2006年、外国人在留者含む)
(出典:「Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2006」)
- 3.首都 バンダルスリブガワン
- 4.民族 マレー系(含その他の先住民族)67%、中華系11%、その他22%
- 5.言語 マレー語(公用語)、英語、中国語等
- 6.宗教 イスラム教(国教)、キリスト教、仏教等
- 8.通貨 ブルネイ・ドル
為替レート 1ブルネイ・ドル = 約79円(2007年10月現在)
補助通貨単位 100セント = CENT/S
- 9.査証(ビザ) 日・ブルネイ査証免除取極(1986年6月2日・発効)
- 10.在留邦人数 102名(2006年10月現在) コンセント・タイプ
- 11.在日当該国人数 18名(2006年7月)
- 12.電源 220 V 60 Hz
- 13.国際電話 国番号 673 国際通話コード 1
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)
税率 - %
製造数量 - (百万本/年)
シガレットメーカー **No Cigarette Manufacturers in this Country**

15.略史

年月	略史
14世紀末	アラク・ベタール王がイスラム教に改宗して初代スルタン・モハマッドとなる
16世紀	第5代スルタン・ボルキアの統治下、ボルネオ島全域とフィリピン南部を統治、ブルネイ王国の最盛期
1888年	英国と保護協定を結び、外交を英国が担当
1906年	内政を含め英国の保護領となる
1959年	内政の自治を回復
1962年	アザハリの反乱 非常事態宣言を發布(現在に至る)
1984年	英国より完全独立(1月1日)

16.在外大使館・領事館

在ブルネイ日本国大使館
Embassy of Japan in Brunei Darussalam
House No. 33, Simpang 122, Kampong Kiulap, Bandar Seri Begawan BE1518,
Negara Brunei Darussalam (P.O. Box 3001, BSB BS8675)
Tel:673- 2229265 Fax:673- 2229481

17.駐日大使館・領事館

ブルネイ・ダルサラーム国大使館
Embassy of Brunei Darussalam in Japan
〒141-0001 品川区北品川6丁目5-2
電話:03-3447-7997

政治体制・内政

- 1.政体 立憲君主制
- 2.元首 ハサナル・ボルキア国王(第29代スルタン)
- 3.議会 1984年の独立直後から停止されていたが、2004年9月に再開され、議会の構成に関する憲法改正が行われ、公選議員を含めることが可能となった。
- 4.政府 (1)首相 国王が兼任
(2)外相 モハメッド・ボルキア殿下(国王の実弟)
- 5.内政 国王は宗教上の権威であるとともに、独立以来国政全般を掌握。
(現在も国王が首相、国防相及び蔵相を兼任)。
石油と天然ガス産出により経済水準も高く、社会福祉も充実しており、非常に安定している。
「マレー主義、イスラム国教、王政擁護」を国是とする。

外交・国防

- 1.外交基本方針 独立後直ちに英連邦、ASEAN、イスラム諸国会議機構及び国連に加盟。
ASEAN諸国との連携を重視。1992年に非同盟諸国会議に加盟。

- 2.軍事力 (1)歳出 449.3百万ブルネイドル(2004年度歳出の13.6%)
(出典:「出典:Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2006」)
(2)兵役 志願制
(3)兵力 志願制 陸海空三軍の合計約7,000人
(陸軍:約4,500人、海軍:約1,000人、空軍:約1,000人)、
またグルカ兵が王宮等主要建物の警備にあっている。
(現役約1,050人、退役約2,000人)

経済

- 1.主要産業 石油、天然ガス
2.名目GDP(億ブルネイドル、出典:「Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2006」)
158.6(2005年)
3.1人当り名目GDP(ブルネイドル、出典:「Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2006」)
42,864(2005年)
4.GDP成長率(出典:「Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2006」)
2.7%(2001年)、3.9%(2002年)、2.9%(2003年)、0.5%(2004年)、0.4%(2005年)
5.物価上昇率(出典:「Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2006」)
0.6%(2001年)、-2.3%(2002年)、0.3%(2003年)、0.9%(2004年)、1.1%(2005年)
6.失業率(出典:「Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2006」)
4.3%(2005年)
7.総貿易額(億ブルネイドル)
(1)輸出 104.0(2005年)
(2)輸入 24.8(2005年)
8.貿易品目
(1)輸出 石油、天然ガス及び関連製品(総輸出額の約94%)
(2)輸入 機械・輸送機器、工業製品、食料品
9.貿易相手国(2005年、出典:「Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2006」)
(1)輸出 日本(37%)、インドネシア(19%)、韓国(13%)、豪(10%)
(2)輸入 シンガポール(19%)、マレーシア(19%)、米国(10%)、日本(9%)
10.通貨 ブルネイ・ドル
11.為替レート 1ブルネイ・ドル=約79円(2007年10月現在)
(注:ブルネイ・ドルはシンガポール・ドルと等価交換されている)
12.経済概況

豊富な石油、天然ガス生産により安定した経済、高い所得水準を維持してきたが、エネルギー資源への過度の依存から脱却すべく、石油・天然ガスを原料にメタノール等を製造する石油「川下」産業の開発等経済の多様化を目指している。

経済協力

- 1.概要 技術協力を中心にODA協力を実施してきたが、1996年1月、ODA卒業国となったため、1998年度をもって終了。
2.1998年度までの実績
技術協力:39.28億円
研修員受入:1,134人、調査団派遣:114、調査団派遣:237人
機材供与:4.163億円、プロジェクト技協:2件、開発調査:5件

二国間関係

- 1.政治関係 活発な要人往来が行われる等両国関係は良好。

2.経済関係

(1)対日貿易

(イ)品目

輸出 石油、天然ガス
輸入 車両及びその部品、管及び管用

(ロ)貿易額(財務省貿易統計、単位:億円)

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
輸出(日本 ブルネイ)	398	112	117	115	118
輸入(ブルネイ 日本)	1,900	2,116	2,045	2,525	2,718

(2)我が国からの直接投資(百万ブルネイドル)

2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
7.7	528.5	7.6	26.5	33.9

出典:「Brunei Darussalam Statistical Yearbook 2005」

- 3.文化関係 (1)東南アジア青年招聘、日本語教育専門家派遣等
(2)在日ブルネイ人留学生:6名(2007年6月現在)
4.在留邦人数 102名(2006年10月現在)
5.在日ブルネイ人数 18名(2006年7月)

6.要人往来(1990年以降)

(1)往

年月	要人名
1991年4月	海部総理(ASEAN諸国訪問)
1993年1月	宮澤総理(ASEAN諸国訪問)
1995年7月	河野外相(ASEAN拡大外相会議)
1995年9月	橋本通産相
1996年9月	常陸宮同妃両殿下
1997年1月	橋本総理(ASEAN諸国訪問)
2000年9月	宮澤蔵相(APECブルネイ会合)
2000年11月	平沼通産相(APECブルネイ会合)
2000年11月	河野外相(APECブルネイ会合)
2000年11月	森総理(APECブルネイ会合)
2001年11月	小泉総理(ASEAN+3首脳会合)
2001年12月	熊谷日・ブルネイ友好促進議員連盟会長一行
2002年1月	綿貫衆議院議長
2002年2月	杉浦外務副大臣
2002年7月	川口外相(ASEAN+3外相会合等)
2002年9月	平沼経済産業大臣(ASEAN+3経済大臣会合等)
2003年1月	矢野外務副大臣
2004年5月	渡部恒三日・ブルネイ友好促進議員連盟会長一行 (日ブ国交樹立20周年記念式典)
2004年9月	皇太子殿下(ピラ皇太子結婚式出席)
2005年6月	町村外相(ASEAN諸国訪問)
2007年4月	田村総務副大臣(実務訪問)
2007年5月	甘利経済産業大臣(日ASEAN経済大臣会合)

(2)来

年月	要人名
1990年11月	ハサナル・ボルキア国王、ジェフリ蔵相(即位の礼参列)
1993年11月	ザカリア運輸・通産相
1994年10月	フセイン文化・青年・スポーツ相
1995年3月	モハメッド外相(外務省賓客)
1995年11月	ハサナル・ボルキア国王、ジェフリ蔵相、 ラーマン産業一次資源相(APEC大阪会合)
1996年12月	フセイン文化・青年・スポーツ相
1998年3月	アジズ教育相(外務省賓客)
1999年5月	ラーマン産業・一次資源相
2000年6月	同上(小淵元総理合同葬参列)
2000年8月	モハメッド外相(非公式の訪問)
2000年10月	ハサナル・ボルキア国王(非公式の訪問)
2001年4月	ラーマン産業一次資源相
2001年9月	ラーマン産業・一次資源相(APEC人材養成熊本会合)
2002年3月	ピラ皇太子(非公式招待)
2002年5月	ラーマン産業・一次資源相
2002年8月	モハメッド外相(東アジア開発イニシアティブ閣僚会合)
2002年9月	アジズ教育大臣
2002年9月	アバカール保健大臣(WHO西太平洋委員会)
2003年12月	ハサナル・ボルキア国王、モハメッド外相、 イサ国王特別顧問兼内相、ラーマン産業・一次資源相 (日・ASEAN特別首脳会議)
2004年12月	モハメッド外相(非公式の訪問)
2005年5月	モハメッド外相(ASEM外相会議)
2005年5月	ラーマン産業・一次資源相(愛・地球博)
2006年5月	ヤヒヤ・エネルギー大臣(非公式の訪問)
2006年6月	マスナ王女()
2006年9月	カウイ殿下(21世紀パートナーシップ招聘)
2007年5月	ヤヒヤ・エネルギー大臣(非公式の訪問)
2007年6月	ハサナル・ボルキア国王(日ブルネイ経済連携協定署名)

7.二国間条約・取極

日・ブルネイ査証免除取極(1986年6月2日発効)

日・ブルネイ航空協定(1994年8月30日発効)